

エイジレス社会づくりの活動手法

あうんの呼吸で連携

雄神楽天塾

&

地域コミュニティの核

カフェおがみ

活動と運営

砺波市庄川町 雄神地区について

- 庄川地域の東部に位置し、庄川沿いの巾約2K、長さ約5Kと細長い集落で3つの自治会がある。
- 人口は252世帯、742人と砺波市では3番目に少なく、高齢化率は43%と高く、少子高齢化と過疎化が進む。
- 地域住民には結束力があり、現在は地域活動は活発だが、将来に向けての活性化策が必要である。
(里山環境保全活動、公民館活動で全国表彰)
- 雄神地区は古来より庄川の河岸段丘にあり、古くから人々が住み着き長い歴史と多くの文化財を持つ。

雄神地区文化財マップ

自然と歴史に育まれた郷



雄神地区神自治振興会

6 元雄神社 庄川の守り神
弁財天社

弁財天社は「元雄神社」とも言い、庄川流の治水の女神として、流域の人々の崇拝を受けています。33年毎に行われる「御開帳」には10万人をこす参拝者が集まります。

天正13年(1585)の大地震で庄川の氾濫が大きく変わり、当時この地に鎮座していた雄神神社の境内地を潤して周辺の村々が浸されました。神の御主自田利郎が氾濫の中に樹木が繁茂する島(境内地)を見て「水の神」である弁財天を祀るよう指示。雄神神社は東照山麓に移転し、庄川の守り神として神社の御分霊と弁財天を祀る「元雄神社」が創建されました。

昭和三十二年(1967) 昭和三十二年(1967) 昭和三十二年(1967)

5 中世の城跡跡
壇城・台所屋敷跡

壇城跡は、城主の居館と山城がセットで残る、境内では珍しい中世城跡跡です。往復部分の台所屋敷からは、建物の柱や瓦葺に使われた石、灰化物が近い範囲から発見されました。灰化物は、幾度かの落城で大災が起こったためだと見られます。山城では、堀や土塁といった築うための小規模施設が確認できます。南東の三条山にある千代ヶ榎城跡と尾巻谷の遺跡跡でつながっていることから、平泉時代の城跡が壇城、緊急時に立てこもる城が千代ヶ榎城といった使い分けがされていたと推測されます。

昭和三十二年(1967) 昭和三十二年(1967) 昭和三十二年(1967)

9 加賀藩御用達の矢竹
矢竹製伐林

当地の矢竹は質良であり、軍用として質良良材と認められ、禁伐林として保護されました。明治前期により植林が開始されました。

昭和三十二年(1967) 昭和三十二年(1967) 昭和三十二年(1967)

4 南北朝期の石塔が残る
奇岩(馬蹄石)

南北朝期の石塔、谷をめぐり、深淵の粘土に馬蹄の形を刻まれました。その後、流水中の石塔分などが腐化して、馬蹄の形を残したものとされています。

昭和三十二年(1967) 昭和三十二年(1967) 昭和三十二年(1967)

3 郷土産品のパワースポット
山上の池

この池は千代ヶ榎城の飲料水とも使われ、嘉永(1848-1854)のころの所産の古事からその名が伝わりました。

昭和三十二年(1967) 昭和三十二年(1967) 昭和三十二年(1967)

2 中世の典型的な山城
千代ヶ榎城跡

庄川右岸の三条山麓に築かれた中山山城です。最高所の主曲輪を中心として西と東に伸びた尾根上に垂直の曲輪を築き、堀切や竪堀を設けて防御しています。

昭和三十二年(1967) 昭和三十二年(1967) 昭和三十二年(1967)

14 数人旅行の愛染子が語る
西住塚

西行(もと北朝の武士・真寂尊者)は、西住ととも旅籠をめぐったが、西住の遺跡三谷村にたつたとき、西住が病にかかり死した。西住は愛染を祀る石塔を建て、塔を建てて御開帳を行いました。西行の西行御開帳の歌を詠んだものと伝わっています。

昭和三十二年(1967) 昭和三十二年(1967) 昭和三十二年(1967)

15 谷内川流域の水神様
水宮社

水宮社は谷内川の治水の水神として、平安初期(860頃)より創建されたと考えられています。

昭和三十二年(1967) 昭和三十二年(1967) 昭和三十二年(1967)

12 航空機工場予定地
地下工場用トンネル跡

金剛寺の阿彌陀佛社の裏山から谷川運道沿いの山中に建設のトンネル掘削跡があります。

昭和三十二年(1967) 昭和三十二年(1967) 昭和三十二年(1967)

11 金剛寺金剛寺に由来する
金堂山 西蓮寺

金堂山金剛寺は、南北朝時代の御開帳(南北朝)の行在所として一ノ谷山(御開帳)に、後醍醐天皇御開帳によって開山されたといわれています。寺の前身は長慶天皇の御開帳した河内内膳の天満山金剛寺より名づけたものであり、寺跡は御開帳をほしめ御開帳の御開帳の御開帳をほすまじりであったと伝えられています。永正元年(1504) 堂宇を明使に移し、浄土宗宗廟(西蓮寺)に改称されました。

昭和三十二年(1967) 昭和三十二年(1967) 昭和三十二年(1967)

10 杉の巨樹が二本林立する
恩光寺跡の二本杉

高野山境内にある高山天竺寺は、もとの寺にあり、その御開帳は高山天竺寺に、後醍醐天皇御開帳で、永正元年(1504)に開山されたといわれています。

昭和三十二年(1967) 昭和三十二年(1967) 昭和三十二年(1967)

7 西暦80年(漢行天竺10年)創建
雄神神社

雄神神社は、往古にあり神社です。通称「庄の宮」と言い、庄下3ヶ村の神社です。

昭和三十二年(1967) 昭和三十二年(1967) 昭和三十二年(1967)

雄神楽天塾の特色(持ち味)

- **メンバーは現在17名(結成時は11名)、平均年齢は71才**
- **活動への参加は自主的な無償ボランティア**
メンバーはそれぞれに仕事や趣味を持ちながらも地域のもりあげ隊として結束し、提供するサービスのなか等で楽しみながら、元気なむらづくりにいきいきと活動している。
- **全員が自発的に行動し、多方面に能力を発揮し、お互いを認め合いながら協調できる。**
- **活動は束縛ではなく、ゆるやかにつながり、支え合って目標に向け進めている。**



雄神楽天塾

オニユズの皮を砂糖漬けにした「ピール」
「コンフェチュール(ジャム)」やゆずみそを販売している



雄神楽天塾の誕生経緯と活動について①

2010年 当地区の市議会議員の後援会に女性部結成される。
熱血女性グループが誕生

2013年 熱血女性グループが「**雄神楽天塾**」を結成
モットー「地域を元気に！自らも楽しもう！」
★地域のイベント等に参加・協力

2015年 雄神地区自治振興会が地方創生事業の助成を契機に
「**モアハピネスおがみプラン**」を策定
2つのプロジェクトの企画、運営を受託

モアハピネス **お** **が** **み** フラン

事業の趣旨 地域力を活かし、更なる地域コミュニティの充実と地域の活性化を図る。

事業の内容 1) 「**お**らっちゃん元気で安心やちゃ」フラン

講座や教室、レクリエーション等を通じ、人を元気にするフラン

①認知症予防「健康マージャン教室」「臨床美術教室」開講

②歌って元気「健康カラオケ教室」開講

2) ①がってん！ “おらがふるさと” フラン

雄神の歴史、史跡、名勝、遺跡を見つめ直し、郷土の魅力を発信する。

- ①雄神村誌の再編（初版から100年）
- ②文化財マップの編集

3) ①みんなの幸せ仕掛人 フラン

多世代の交流の場（たまり場、少人数のグループ活動の場、子守り、くつろぎの場、暇つぶしの場等々）にぎわいの場を提供する。

- ①集会センターの会議室を改装し、カフェを運営する。

又、地域の特産品を商品化し、生産者を応援する。

- ②地域の特産品の商品化

雄神楽天塾の活動について②

2017年7月 **コミュニティ・カフェ「カフェおがみ」**開店

「健康マージャン教室」開講

開催日・場所：毎週金曜日・カフェ 麻雀卓 常時2台

講師：地元の愛好者 ★自由参加

（現在は毎日ゲーム可能）

「臨床美術教室」開講

開催日・場所：毎月第4火曜日・集会センター大会議室

講師：地元の臨床美術士 受講者：高齢者8名～10名

（現在は自主グループで継続）

「歌声喫茶」開講

開催日・場所：隔週木曜日・カフェ ★自由参加

★音響機器は地元の元カラオケボックスの所有者から提供

（現在はコロナで中止）

「カフェおがみ」の運営について①

管理者： 雄神地区自治振興会

「カフェおがみ」のある雄神集会センターの運営管理者

運営： 雄神楽天塾(無償ボランティア、当番制ではなく、
都合の良いメンバーが出てくる体制)

営業時間： 平日 10:00～15:00(現在は午前中のみ)
(時間外利用の場合は事前予約)

サービス

内容： 飲み物 コーヒー、抹茶、おがみりんごジュースの提供
(100円～150円/1杯)
スタッフ手作りスイーツ提供(無料)

健康マージャン(1回100円)、トランプゲーム(無料)
毎週木曜日の歌声喫茶は現在中止

「カフェおがみ」の運営について②

カフェ・健康マージャン利用者：年間約5,600人(1日平均25人)
(今年度は平均18人)
年齢層 60代～80代 男女半々

年間行事：麻雀大会 年間2回
ランチ会 年間3回(対象は各地区の高齢者サロンの参加者)

※その他スタッフ思い付き事業

・新春ランチ会・バレンタイン交流会・ひなまつり交流会・クリスマス会等

※地元の各種団体の利用も多く、地区外からの来訪者もある。



令和3年度「富山県地域包括ケア実践顕彰」受賞



ランチ会と健康体操



2017/1

臨床美術教室

KNBラジオ鍋田氏来訪



2019 歌声喫茶の様子



2017/10/04



12

雄神楽天塾の活動について③

●地域の特産品の商品化と生産者の生きがいづくり

2018年 平成30年度中山間地域チャレンジ事業に取り組む

①「雄神の里農産物直売所」開設

★月～金の平日午前営業

★地元の家庭菜園の野菜、加工品を仕入、販売

生産者は70才～90才の高齢者女性15人から20人

② 特産品の商品開発・加工開始

★地元特産のゆず、りんごの加工、漬物の製造販売

「ゆず味噌」「ゆずコンフィチュール」「ゆずピール」

「ゆずパイ」「アップルパイ」「きゅうり・なす・うり粕漬け」等

★地区の交流会で提供、直売所・庄川道の駅で販売

★東京有楽町の富山県のアンテナショップでPR、販売



雄神の里農産物直売所

夏野菜カレー交流会



となみ食彩市場 PR 試食販売



東京有楽町 富山県アンテナショップ PR 試食販売



調理の様子



庄川ゆずまつり ゆずパイづくり教室

雄神楽天塾の活動について③

●更なる地域コミュニティの活性化のために

2022年 令和4年度中山間地域チャレンジ事業に取り組む

活動名:「ふれあい広場」を整備し、

『多世代交流&地域の輪・和・話づくり』

★公園を整備し、花壇をつくる。☞なごみスペースづくり

★多世代交流会を企画、開催☞地域コミュニティの活性化



ご清聴ありがとうございました